

平成29年6月28日

各位

会社名株式会社グリムス
代表者名代表取締役社長 田中政臣
(JASDAQ・コード 3150)
問い合わせ先 経営企画部長 阿部嘉雄
TEL 03-5769-3500

「2017 中期経営計画」に関するお知らせ

当社グループは、経営環境の変化や業績の推移、当社グループを取り巻く状況などを踏まえ、平成30年3月期から平成32年3月期まで3ヶ年の「2017中期経営計画」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 基本方針

当社グループは、「2016 中期経営計画」において、顧客基盤を活用した収益の強化や新規商材の販売促進による営業利益の増加を目指してまいりました。このたびの「2017 中期経営計画」においては、これまで築いてきた顧客基盤を活用し、あらたな事業領域としてスタートした小売電気事業を推進することで、売上と利益の増加を目指してまいります。

2. 基本戦略

エネルギーコストソリューション事業においては、既存事業を着実に拡充していくことでリプレイス収益の強化を図り、既存顧客へのLED照明等のクロスセルを促進するとともに、電力の取次の新規開拓を強化することで収益基盤を強化し、収益力の増強を図ってまいります。

スマートハウスプロジェクト事業においては、引き続き催事販売を中心とした住宅用太陽光発電システムの販売の拡充や蓄電池のセット販売を強化するとともに、ハウスメーカー等との提携販売、VPP（バーチャルパワープラント）の活用を推進し、収益機会を拡大してまいります。

小売電気事業においては、顧客基盤を活用した販売を促進し、グループ全体の成長の原動力としてまいります。

3. 定量目標

連結

(単位：百万円)

	30年3月期	31年3月期	32年3月期
売上高	9,000	12,300	15,100
営業利益	830	1,000	1,300
経常利益	920	1,020	1,318
当期純利益	559	620	800

NEWS RELEASE

セグメント別売上高

(単位：百万円)

事業	30年3月期	31年3月期	32年3月期
エネルギーコストソリューション	3,688	3,686	3,831
スマートハウスプロジェクト	3,591	3,813	4,103
小売電気	1,670	4,800	7,165
連結売上高	9,000	12,300	15,100

(注) インキュベーション事業は軽微なため表示していません。

セグメント別利益

(単位：百万円)

事業	30年3月期	31年3月期	32年3月期
エネルギーコストソリューション	1,177	977	1,003
スマートハウスプロジェクト	258	323	299
小売電気	▲134	247	537
セグメント利益計	1,288	1,547	1,839
全社費用	458	546	539
連結営業利益	830	1,000	1,300

(注) インキュベーション事業は軽微なため表示していません。

上記に記載した予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は様々な要因により異なる場合があります。

以 上



Copyright : gremz, Inc All Rights Reserved

1

1. はじめに



「あたらしい電気で、感動と喜びを。」

2016年4月に電力の小売が全面自由化され、電力需要家は電気を選んで購入することが可能となりました。

グリムスグループはこれまで、エネルギーに関する商品・サービスをお客様に提供して事業を拡大してまいりました。

そして、2016年12月より開始した小売電気事業をさらに大きく推進させ、あたらしい電気で感動と喜びを目指すエネルギーソリューションカンパニーとして、今後もさらに成長し続けてまいります。

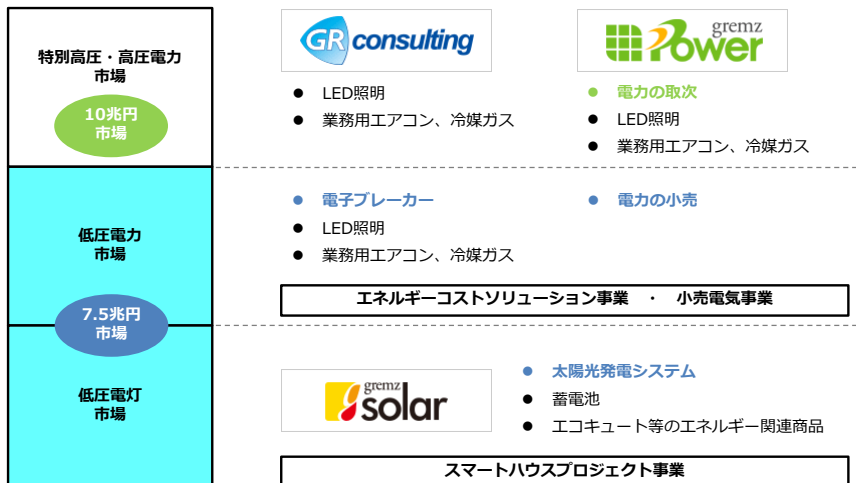
Copyright : gremz, Inc All Rights Reserved

2

2. 市場環境と当社グループの取扱商品・サービス



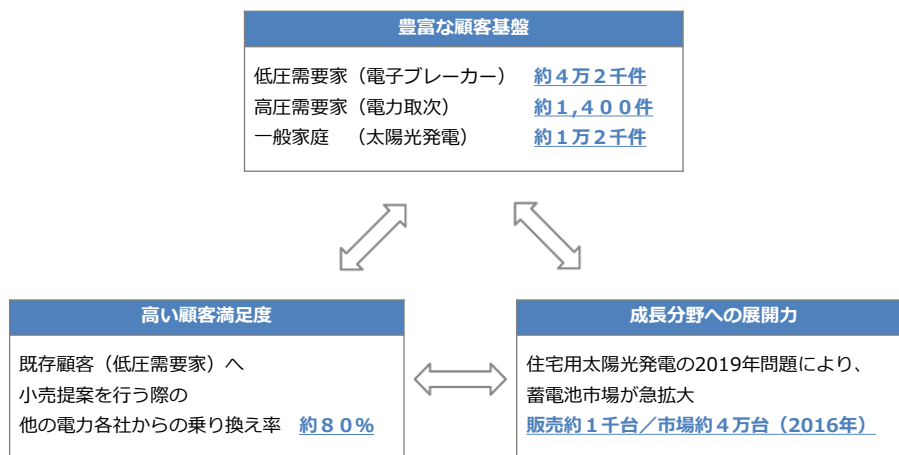
電力小売全面自由化により、電力市場は拡大。
当社グループは低圧から高圧までの全ての領域で、商品・サービスをラインナップ。



3. 当社グループの強み



当社グループの強みは、
「豊富な顧客基盤」と「高い顧客満足度」を活かした「成長分野への展開力」



4. 事業戦略



事業毎に成長戦略を遂行し、グループ全体でバランスの取れた成長を実現する。

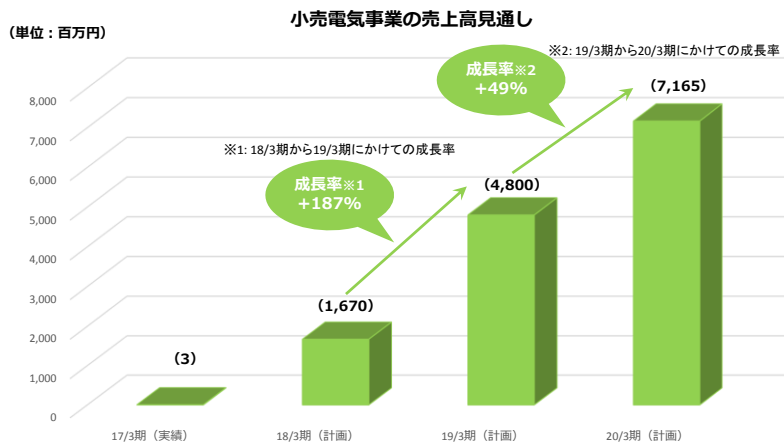
エネルギーコストソリューション事業	電力基本料金削減コンサルティング（電子ブレーカー）の拡充
	リプレイス販売、LED照明等、電力小売へのクロスセルにより、収益力の増強を図る。
	電力取次の推進
	ストック収益を強化し、収益基盤の拡大を図る。
スマートハウスプロジェクト事業	提携販売の推進
	ハウスメーカー等との業務提携により、提携先のOB顧客に販売を行うなど、収益機会の拡大を図る。
	VPP（バーチャルパワープラント）（※）の活用
	より安価で、家庭でも幅広い電力のマネジメントができるよう、お客様にVPPの活用をしていただき、顧客満足度の向上を図る。
小売電気事業	顧客基盤を活用した販売の推進
	既存顧客への販売にて約80%の成約率を実現していることから、これからも販売を推進し、ストック収益の強化につなげ、収益基盤の拡大を図る。

※VPP：分散して存在するエネルギーリソース（太陽光発電・蓄電池等）を統制制御し、あたかも一つの発電所のように機能させるもの。

5. 小売電気事業の成長見通し



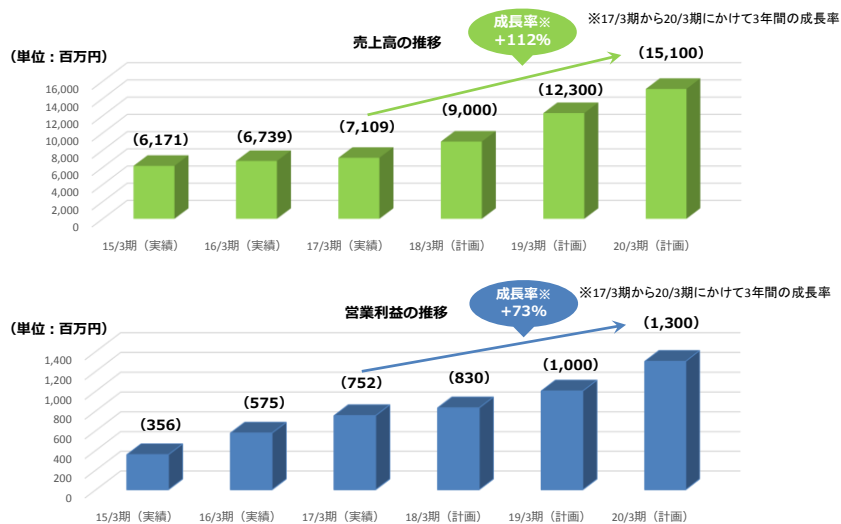
小売電気事業は、電子ブレーカー顧客へのクロスセルで順調な拡大を見込む。



6. 売上計画・利益計画



小売電気事業の寄与により売上高が拡大し、
2019年3月期には、売上高100億円超え、営業利益10億円超えを見込む。



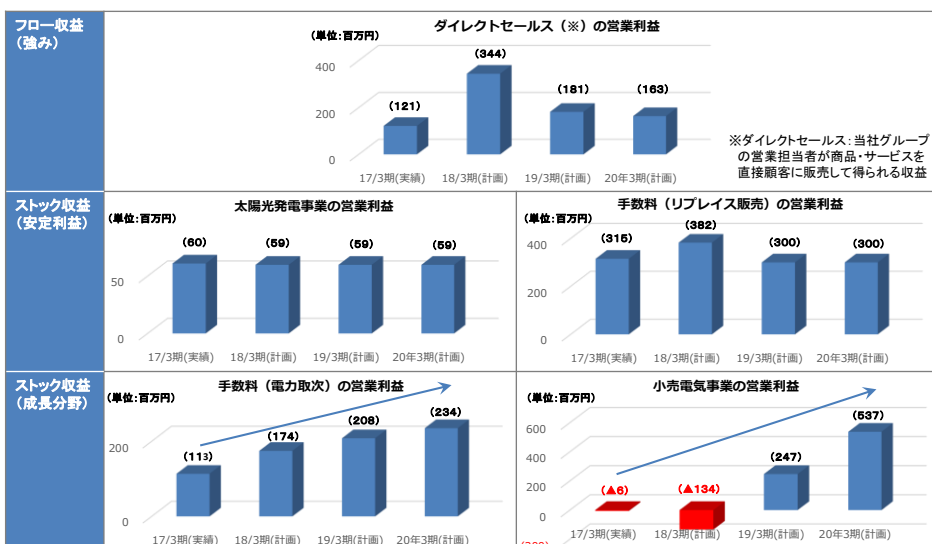
Copyright : gremz, Inc All Rights Reserved

7

7. 営業利益の内訳



当社グループの強みであるダイレクトセールスのフロー収益を梃子に、電力取次と小売電気事業のストック収益を成長させ、グループ全体の持続的成長を図る。



Copyright : gremz, Inc All Rights Reserved

8

すべての人に感動と喜びを Filling the World with Inspiration and Joy

変化する環境の中で常に感謝、応援され永続的に社会と共存する企業群を目指します。
情報格差をなくし高い価値の普及に尽力し、豊かで安心して暮らせる社会の構築に寄与します。

経営ビジョン

顧客

お客様が当社グループからのサービスを安心して享受出来る企業群を目指します。

社員

社員が当社に勤めることを誇りに思い、自分の人生を懸けて働ける企業群を目指します。

株主

株主様にとって当社の成長が永続的な喜びとなる企業群を目指します。

社会

常に社会のニーズを敏感に察知し、求められた価値を提供する企業群を目指します。



本資料に関するお問い合わせ

TEL 03-5769-3500

ir@gremz.co.jp

(免責事項)

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、特定の商品についての募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。予めご了承ください。